

地震に負けぬ水道に！

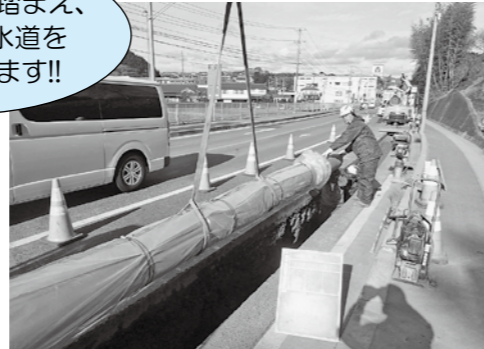
～ 水道施設の耐震化の取り組み ～



東日本大震災では、主要な水道管に多くの被害がありました。



震災の経験を踏まえ、地震に強い水道を目指しています!!



水道管の敷設替えの様子

◆耐震化の現状と目標◆

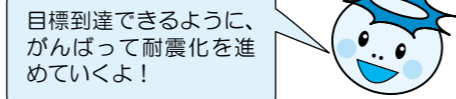
●耐震化率

区分	現在値 (平成28年度)	目標値 (平成33年度)
全ての管路	8.5%	12.1%
うち基幹となる管路※1	41.4%	44.3%
うち重要給水施設※2への管路	34.5%	39.0%
浄水施設(浄水場等)	23.4%	47.6%

※1 重要な水道管である「導水管」や「口径35cm以上の配水管」など
 ※2 災害時でも確実な給水が求められる「救急病院」や「人工透析病院」など



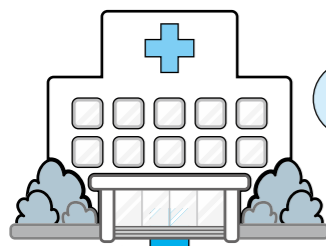
それぞれの水道施設に、目標値が設定されているんだね。



目標到達できるように、がんばって耐震化を進めていくよ!

◆耐震化の進め方◆ こんなことをやっていきます！

救急病院などの重要給水施設への管路



地震に強い水道管へ優先的に交換

地震に強い水道管

浄水場などの施設



柱を太く壁や床を厚く

耐震診断を実施

耐震補強工事等



水道管の耐震化

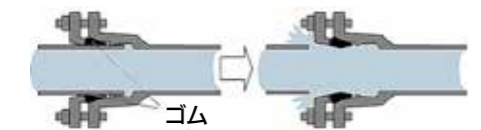
老朽管の更新時には、地震に強い材質や継手構造を持つ水道管を使用することで、地震に対する安全性を高めます。

【耐震化の一例】

今までの水道管(非耐震管)

大きな力が加わると...

抜けてしまう

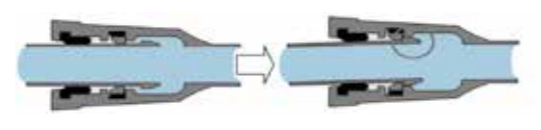


耐震化

地震に強い水道管(耐震管)

大きな力が加わっても...

抜けない!!



お問い合わせ 配水課 庶務係 TEL 22-9316

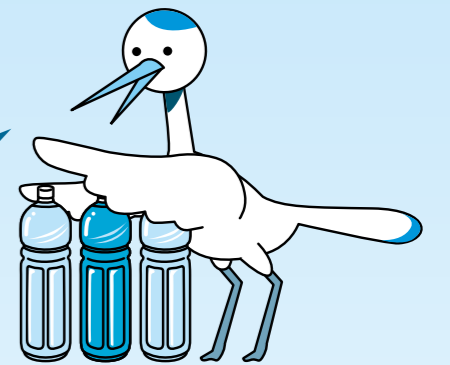
飲料水の備蓄をお願いします

大規模な災害が発生した場合、道路の崩壊などにより、十分な応急給水活動ができないことも予想されることから、水道局ではご家庭での飲料水の備蓄をお願いしています。



飲料水は、一人1日3ℓ必要とされているよ。3日分を目安に備蓄してね!

水道水を備蓄する場合は、ふたのできるペットボトルなどの容器いっぱいに入れ、暗く涼しい場所に保管しよう。3日に1回は水を入れ替えてね。



★その他、家庭でできる災害時の水の備え★

◆ポリ容器などの水を入れる容器を準備しておく

清潔なポリタンクやバケツなどを準備しておくこと、給水車から応急給水を受けるときに便利です。



◆お風呂の残り湯はすぐに捨てない

火災発生時の初期消火用水やトイレを流す水などの生活雑用水として使うことができます。



水道局本庁舎の耐震化工事が終了しました

平成28年9月から実施していた、水道局本庁舎の耐震化工事が、平成29年12月15日に終了しました。長い間、ご不便をおかけしました。



お問い合わせ 経営企画課 広報情報係 TEL 22-9309